

Sustainability Action

2021年7月

SEIBU SOGO

【そごう大宮店】

全国の障がい者支援施設の商品を販売 「やさしさつながるマルシェ」を開催

そごう大宮店では、7月14日(水)~20日(火)、全国75の障がい者支援施設で手作りされた食品や雑貨を一堂に集めた販売会「やさしさつながるマルシェ」を開催しました。この企画は日本全国の障がい者支援施設と協働で、商品の企画開発や販売を行い、百貨店や専門店での催事出店などに精力的に取り組んでいる、株式会社スリーパンズの協力によるものです。コロナ禍で販売に悩む施設も多い中、小売店では常設販売していない商品の数々を、多くのお客さまがご来店される百貨店の場を活用し、実際に手に取っていただく機会を提供することで、作り手の収入面への寄与および注文・販売体制の安定的な構築につながることを目指しています。



食品から雑貨まで
幅広く展開

販売商品の一例



■ベーゴマクッキー(埼玉県 川口市)

特定非営利活動法人ヒールアップハウスが、障がいのある方の働く場所としてオープンしたパン屋「harebare」で作られています。埼玉県の狭山茶を使用し、川口市の鑄物(ベーゴマ)を形どった米粉のクッキー。

■はちみつプリン(島根県 益田市)

NPO法人きずな「ひまわりの家」が行っている製菓事業では、地元の食材を使った焼き菓子を中心に6種類のお菓子を製造・販売しています。



■チキンカレー(岩手県 宮古市)

一般企業などでの就労が困難な障がい者に対し、就労に必要な知識および能力の向上のために必要な訓練を行っている、うまいもん製造所就労継続支援A型事業所「鳥もと」が運営するカレー専門店「咖喱亭」のメニューをレトルトカレーで販売。

この取組みにより、国連で定めたSDGsの目標 8・10・17に貢献します。

